

## 「安心・安全な薬物療法」を遂行する為に

薬剤部長 本間 健道

当院薬剤部において、「安心・安全な薬物療法」を遂行するために、どのようなことを行っているのかを紹介いたします。

## ◇調剤業務について

当院薬剤部では、透析処方を含む外来処方を9000件/月、入院処方を3500件/月ほど調剤しています。

外来処方が多くなる時間帯には特に、待ち時間をできる限り減らすべく、薬剤部員総出で、かつ迅速に調剤業務を行う必要があります。しかし、人員を集めたり作業ペースを速めたりすることで、リスクを増やしてしまうことは万に一つでもあってはなりません。



人間個々がリスクへの意識を保つことはもちろん重要ですが、それに加えて当院では、調剤業務に関してはリスク軽減のために調剤支援システムを活用しています。例えば、錠剤・一包化・軟膏混合・水剤の調剤の際にバーコード読み取りにて医薬品の取り違えを防ぐ「計数調剤支援システム」が調剤過誤を大幅に減らすことに貢献しています。

## ◇医薬品の適正使用の提案について

モニタリングが必要な抗菌薬に関して、腎機能や血中濃度を確認し、初回投与設計やTDM（治療薬物モニタリング）を行っています。医師からの依頼に応じて行う場合の他に、処方時に薬剤部から介入し医師に提案・報告することもあります。

また、がん化学療法についてですが、抗がん剤注射はレジメンにて投与薬剤、投与量、投与スケジュール、投与コース数などが管理されます。一方、内服の抗がん剤については体表面積や検査数値などで投与量や投与間隔が複雑に設定されるものがあり、そのような内服抗がん剤については薬剤部にて投与前に処方内容の是非について吟味し、変更の提案を含め医師や他のスタッフへフィードバックする運用を行っています。

## ◇チーム医療と服薬管理指導について

医療安全、感染制御、抗菌薬適正使用支援、化学療法、がん緩和ケア、栄養サポートなど、院内の各種委員会やチームに属して活動しています。処方された薬の情報や、薬歴、臨床検査値などのカルテ情報、他のスタッフまたは回診や他職種カンファレンスなどで得た情報をもとに、患者さんが安心して医薬品を使えるよう副作用や管理方法も含め、説明を行っています。

今後も精進し、より一層安全かつ良質な薬物療法の推進に努めます。

医療機関様からのご紹介・お問い合わせは

上越総合病院 地域連携センター

電話 025-524-3000 (代表)

FAX 025-524-3140 (直通) まで

## ○ ACP研修会を終えて

外来看護師長 笠野 ルミ

新秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また平素より当院に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る令和元年9月18日に、当院では2回目となるACP症例検討会が行われました。地域の皆様からは36名の参加をいただき100名弱の盛大な研修となりました。限られた時間の中で各グループからは活発な質問が飛び交い、事例検討会としましては積極的な対話ができ



のではないかと思います。お忙しい中、大勢の方に参加していただきましたことを心よりお礼申し上げます。

ACPとは、2018年3月に改訂された、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に盛り込まれた、新しい考え方です。

厚生労働省は、ACPの愛称を公募し2018年11月30日に「人生会議」と決定しました。同日を「人生会議の日」と定めるなどして、ACPの周知・普及に力を入れています。当院も地域に貢献する病院として、様々

な医療ニーズに全力でお応えできるよう、今後もACP研修会を企画してまいりたいと思っています。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 小児科・皮膚科予約のご案内

ホームページでもお知らせしておりますが、9月より小児科・皮膚科の地域連携センター予約枠を新設し、ご予約いただけるようになりました。是非ご利用ください。

合わせて、紹介患者事前申込書（FAX用）・紹介患者事前申込書（FAX用）施設用を改訂いたしました。

ご不明な点は地域連携センターまでお問い合わせください。

## ○ 新任医師紹介

《出身地 出身大学 趣味・特技 抱負》



整形外科 しもじま こうた  
**下島康太**

出身地：長野県駒ケ根市  
出身大学：金沢大学  
趣味・特技：旅行

抱負：整形外科医としてスキルアップすることはもちろん、地域の皆様の力になれるように頑張ります。上越での生活にも早く慣れていきたいと思ひます。



## ○ JA主催 こども教室「ちゃぐりん道場」参加 病棟師長 浅野 和子

10月20日（日）こども教室「ちゃぐりん道場」に参加しました。

「ちゃぐりん道場」は、小学生児童を対象としたJA主催のこども教室です。

上越総合病院では、初めての参加でしたが、こども25名・保護者8名と大勢の参加がありました。3グループに分かれ6か所をラリー形式で回ってもらいました。

最初緊張していたようですが、各部署の体験を進めていく中で、興味を持ち楽しそうにしている姿が多く見られるようになりました。今回の見学や体験を通し、病院で働く仕事に関心を持ってもらえたら幸いです。



### 看護部担当者の声：包帯法

小学生が対象であったため、楽しく包帯を巻けるように説明し体験してもらいました。子供たちは体験というより包帯を遊び道具に代えて楽しんでいました。



### 薬剤部担当者の声：分包機

薬剤部では、注射薬・内服薬・外用薬など、たくさんの薬を見てもらいました。また、錠剤（本当はお菓子です）を分包機で1回分ずつ包装する体験してもらいました。子供たちは機械から1包ずつ出てくる（おいしい）錠剤に興味津々でした。



### 検査科担当者の声：

- ・顕微鏡で血液の細胞を見てみよう。
- ・血液型の検査を実際にやってみよう。



色々質問してきてくれる好奇心旺盛な子供たちも居て、とても頼もしかったです。この体験を通して少しでも検査について興味湧いてくれていたならば嬉しいです。



# 病院祭

10月26日(土)に  
開催されました!



テープカット



オープニング

開会あいさつ



アルビレックスチアリーダーズ



よさこい  
踊り



保倉川  
太鼓



血糖測定



AED  
講習



ヨーヨー釣り



腸内冒険トンネル



職場紹介パネル



働く車体験



こども  
わいわい広場



バルーンアート



白衣体験



今年も晴天に恵まれ、370名程の多くの皆様からご来場いただきました。メインステージ・各ブースで、観覧や体験をしていただき皆様の楽しい声を聞くことができました。